

牧川っ子



牧川小HP
QRコード

この頃の牧川小学校

校長 内田彦次

【5月9日(木)全校 引き渡し下校訓練】

ゲリラ豪雨や大地震が発生した時、また事件等で児童だけの安全な下校が困難な時を想定して、引き渡し下校訓練を行いました。ご多用の中、ご理解・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました

昨年度は、訓練後まもなく実際に引き渡し下校を行いました。訓練や実施から得られた反省をもとに、右図にあるように実施方法に改善を加えました。

訓練に伴う保護者の負担、学校が避難所になった時の対応、大規模災害時の連絡体制(通信網の混乱)を考慮することも非常に大切な要素と考えています。今現在、連絡体制については、tetoruとホームページの活用を考えています。



【5月20日(月)から現在 児童会】

児童会が「ぽかぽかキャンペーン」を計画し実施しています。児童会役員の子どもたちが、思いやりの言葉や行動で温かい学校をつくろうと、合言葉「つながるおもいやり 広がるえがお ぽかぽかパワー」を考えました。

7月5日(金)から12日(金)に「ポカポカ週間」のキャンペーンを張って、3つの取組をしています。

1つ目は、「クラスの友達にありがとうと言う」「普段遊ばない友達と遊ぶ」といった項目を自分ができたと思ったらカードに○をつける「ポカポカBINGO」です。

2つ目は、温かい声かけや行動ができたならシールを貼る「ポカポカの木」の取組です。温かい声かけや行動ができたなら「ポカポカの木」に水のシールを貼り、うれしい気持ちになったら、お花シールを木に貼る活動です。思いやりの水やりで笑顔の花を咲かせていきたいと思います。児童会役員が呼びかけていました。

3つ目は、お礼の手紙です。うれしいことをしてもらった時のありがとうの気持ちを手紙で表すものです。

「ポカポカBINGO」「ポカポカの木」「お礼の手紙」は、児童会の話し合いの中で生まれました。自分たちの手で、自分たちの学校をよりよくしようとするこうした取組を応援しています。





【5月29日(水) 全校児童 縦割り班遊び】

1年から6年までの異学年児童で構成される縦割り班で、休み時間を使った活動です。各縦割り班の6年生が色鬼やドッジビー、ドッジボールなど異学年で楽しめる遊びを計画し、校庭や体育館、遊具周辺で遊びました。

ここまで準備をしてきた6年生の緊張した顔と無邪気に楽しむ低学年児童の顔が対照的でしたが、遊びが始まるとそれぞれの場所に大きな笑顔の花が咲きました。



【6月20日(金) 高学年児童 福祉実践教室】

今回、稲沢市社会福祉協議会の方々にお世話になり、また多くの講師の先生方に学びの機会をいただきました。「車いす」「手話」「視覚ガイド」の3つの教室を開き、子どもたちにとって貴重な体験ができました。ありがとうございました。

「車いす」教室では、車椅子の仕組みや、心がけるポイントなどを学びました。実際に車椅子に乗ってみて、どんなシチュエーションにおいて、どんな声かけがあるのとないのとで違うか、子どもたちは確かめ体感できました。「視覚ガイド」教室では、ガイドをする側、される側になって、相手のことを考えながら行動することを学びました。「講師の先生方」「体験」「車いすなどの物」の3つの出会いから、子どもたちは多くのことを感じ、学ぶことができました。



「視覚ガイド」教室の様子

【この頃の学習の様子】

明治以降、教師が子どもたちの前に立ち、子どもは黒板に向かって座って教わる形が長く続きました。今もその形は続いています。しかし、下の3枚の写真のような光景が少しずつ増えています。「子ども自身が自らの力を伸ばす」形が、未来を生きる子どもたちに必要な教育の形として次第に強くなっています。

豊かな人生を送るのに意味をもつ本物の知識を身に付けてもらいたいと考えています。そしてそれらを友達と共有したり友達の知恵・視点・考え方を参考にしたりしながら、協力して前に進む力を育てていこうとしています。そうした友達の考えや視点を参考に「思考の協働」を助けてくれるのがタブレットPCです。

子どもの「主体的な学び」を実現するためには、「子どもに任せる」ことが肝心で、大人が意識しなければならない部分です。大変なところもありますが、どんどん楽しくなりそうです。



出所：国立教育政策所

